

令和4年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目

(職)教授(氏名) 本多典子

取組状況	
教育	「国語Ⅰ」では、社会生活に必要な日本語の基礎や古典に親しむための基礎的読解力を身につけさせることができた。現代文分野では、毎時間漢字の小テストを行い、学習習慣を養うことができた。「国語Ⅲ」では評論文を正しく読み取る読解力を身に付けることができた。また、「高瀬舟」・「檸檬」の読解を行い文学作品を自ら読み味わう経験をさせることができた。「日本語表現Ⅱ」ではわかりやすいスピーチの実践活動で成果を得た。「表象文化Ⅱ」では、絵巻・絵本・絵画・アニメの読解や鑑賞によって、日本の伝統文化およびその表現方法への興味を大いに喚起することができた。
研究	教育改善研究として「日本語と日本文学の研究」との研究課題において、研究を進め学生の教育にも反映させることができた。特に、「表象文化Ⅱ」の講義に向けて、中世の御伽草子から近世の読本に関する研究を進めることができた。その成果は十分に授業に還元し、技術・工学系の学生に日本文化に対する見識をもたせ、また興味を喚起することができた。研究と教育において相乗効果があった。
社会貢献	・教員シーズ集に情報を公開し、地域等からの要請に応じて対処・貢献できるよう準備した。 ・地域交流室・広報室からの諸行事における一般科目教員へのヘルプ要請に応え、中学生への入試問題解説会などにおいて貢献した。